

軽電機製造業における死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
2019	9	8 ～ 10	工場内において、吸収式冷凍機の製造工程で、T字レンチでビスカバーのナット締め作業中に、何らかの理由により後方に倒れ、床面（厚さ25mm～28mmの鋼板）に後頭部を強打した。なお、ヘルメットはしていたものの、あごひもは締めておらずヘルメット内側にしまわれており、倒れるのと同時に、外れてしまったもの。	911	2	300 ～
2018	11	6 ～ 7	成形機の金型取替え作業中に、手すり付脚立（高さ約80cm）から墜落し、踏面の下から2段目に足が引っ掛かった状態で発見されたもの。	371	1	30～ 49
2016	2	6 ～ 7	AM6:00頃、自宅の洗面所で倒れ救急搬送されたが、同日AM9:00頃に心停止のため死亡が確認された。	921	90	50～ 99
2016	9	20 ～ 21	アルミテープ貼付機の作業台下の二つある電磁弁のうち一つが故障していたため、（両側に設置されたシリンダーに送給される空気圧で水平移動する）作業台を移動させ、本体の枠内に立ち入り、一人でシリンダーに空気を送給しているホースを繋ぎ変える修理作業をしていた。故障している電磁弁に接続されたホースを外すまで作業台は停止していたが、ホースを外したときに作業台が動き始め、作業台と本体の外枠との間で胸部を挟まれた。	169	7	300 ～
2013	6	7 ～	被災者は、事業場内に設置してある機械についてトラブルが発生したことを社内メールにより確認し、通用口から工場内に入場し、当該機械のトラ	921	90	100 ～

		8	ブル解消を行った。翌朝、事業場内にある食堂において倒れている被災者を、出社してきた社員が発見した。			299
2013	8	16 ～ 17	顧客へ納品を終えた被災者は、帰社するために会社所有のトラックを運転し、国道を走行中ガードレールに衝突した（自損事故）。	221	17	1～9
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299
2010	11	7 ～ 8	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。	221	17	～ 299

		8	ちの7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。			299
2010	11	7	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。	221	17	100
		8	マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうち7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。			299
2010	11	7	県道交差点で、27人が乗った被災事業場のマイクロバスと運送会社の大型トレーラーが出合い頭に衝突し、双方の28人全員が病院に運ばれた。	221	17	100
		8	マイクロバスに乗っていた運転手以外の作業員26人は外国人で、このうち7人が死亡した。マイクロバスは出勤途上、トレーラーはコンテナを輸送中であった。			299
2007	1	9	仮置きしていた制御盤の四方に立て掛けていた鉄板のうち、制御盤前面の鉄板を取り除き、制御盤前面で被災者が制御盤内部を確認していたところ、制御盤が倒れ下敷きとなった。鉄板は切断後の残材であり、全部で110枚、1枚あたり重量20kg～30kg、寸法は多種（最大2.4m×0.64m）であった。	521	5	100
		10				299
2005	2	3	事務所において、勤務中に気分が悪くなり、病院に搬送されたが死亡した。被災者は長時間労働を行っていた。	921	90	300
		4				～
2004	7	15	川の堤防の決壊で濁流が押し寄せてきたため、電気遮断処置を行うために事業場に向かっていった時、濁流に流された。	713	10	300
		16				～
2000	7	12	代替フロン洗浄装置のヒーター交換作業のため、洗浄装置内に入って作業を行っていたときに倒れた。	519	12	100
		13				299
		0	プラスチック破砕機の破砕刃部上方にテレビ枠(破砕物)が詰まったので、自動運転から手動運転に切り換え投入口からテレビ枠を取り出してコンベ			

2000	7	～	ア上に乗せたときにコンベア上にあったテレビ枠に当って下に転がって行き、その時にコンベアに設置されている破碎物検知用光電管が通電して投入口の蓋が閉まったため、投入口と蓋に首、胸部を挟まれた。	162	7	300 ～
2000	12	～	19 NCタレットパンチプレス(圧力能力30 t)で金属板(厚さ0.8mm)の打ち抜き加工をしているときに、自動運転中であるプレス機械のテーブルと材料 20 自動送給装置のフレームとの間に頭部を挟まれた。	154	7	300 ～ 499
1999	6	～	19 自動車ヘッドランプ用レンズの防曇塗装用乾燥炉の下部点検扉を開け、乾燥炉内部に上半身を入れたときに、上昇してきたリフターと上下扉間の補強 20 フレームに首を挟まれ窒息した。	391	7	1000 ～ 9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_30.htmlに戻る。